

徳島NIEコーディネーター(左)から新聞作りのポイントを学ぶ生徒たち=29日、坂井市三国中



「足で情報集めて」

坂井・三国中 記事書くこつ学ぶ



に招いた。

徳島コーディネーターは、近年の上位入賞作品を紹介し「写真やグラフを効果的に活用しよう」「自分の足で情報を集め、疑問を解決していったほうがいい」などとアドバイスを送った。

29日付の福井新聞の紙面を見せながら、重要なことから先に書く記事の

スタイルなども説明。調査した事実の紹介だけで終わらず「自分自身の思いや提言を盛り込んでほしい」と話した。

学年委員長の酒井優誠さんは「教わったことを生かし、古里三国の良さを伝える新聞を作りたい」と意気込んでいた。

福井新聞社による郷土新聞の出前講座は今回の三国中を皮切りに、夏休み前まで、要請があった学校で順次行っていく。
(宇野和宏)

県中学生郷土新聞コンクールに向け、新聞作りのポイントを解説する授業が29日、坂井市三国中で行われた。2年生168人が記事の書き方やレイアウトの方法を学んだ。同コンクールに初めて応募する同校が、福井新聞社から徳島泰彦NIEコーディネーターを講師